

# 「地域コミュニティと防災のまちづくり」講演会

**趣 旨** 市が重要施策として取り組んでいる「防災のまちづくり」、「地域コミュニティ」について講演を通して広く学習する機会を提供することで、防災に対する認識の再構築の中でコミュニティづくりの一助とするもの。

**実施主体** 三条市教育委員会

**参加対象** 一般市民、自治会等地域コミュニティ関係者・防災関係者

**参加者数** 350人

**回 数** 1回 **日 数** 1日 **時 間** 1時間30分

**場 所** 三条市中央公民館

## 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成18年9月2日 15:00~16:30	コミュニティづくりは防災・危機管理から	防災・危機管理アドバイザー 山村武彦
	内 容 ・ 方 法	①安全と安心の違い、②地域・家庭の「安全とモラルの伝承」、③高齢化社会の要援護者を守り、助けるのは誰、④地域コミュニティは、地域を守る砦・参加から参画へ、⑤地域コミュニティづくりと防災は、市民の意識革命から始まるなどの内容についての講演会を行った。 市の広報で参加者を募るとともに、同日午前中に行われた総合防災訓練参加団体への参加割り当てを行った。	

**成 果** ・ 一般市民を含め参加者の防災に対する認識の変化や自助、協助、扶助の意識が芽生えた。

**課 題** ・ 三条市が主催者となり連携の中で取り組んでいくほうがよい。

**問合せ先** 新潟県三条市中央公民館（TEL：0256-32-4811）

## アートプロデュース講座 技術編

**趣 旨** 地域での芸術文化活動にたずさわる方や、関心を持つ人たちを対象に、舞台照明・音響の技術を学んでもらうことにより、舞台芸術の素晴らしさを作り手の立場から体感してもらう。

**実施主体** 見附市文化ホール

**参加対象** 見附市民および近隣市町住民

**参加者数** 20名

**回 数** 5回 **日 数** 5日 **時 間** 1回につき6時間～12時間

**場 所** 見附市文化ホール

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	1月15日 2月25日 2月28日 3月3日 3月4日	仕込み図の見方 音響機器の取り扱い 照明機材のつり込み作業 アルカディアフェスティバル仕込み、本番 他	新潟照明技研 音響・照明担当者
	内 容 ・ 方 法	○ 音響、照明の2コースを設定 ○ テキストによる講習を行った後、大ホール、小ホールの機材を実際に使ったの現地研修を行う。 ○ 3月3日、4日は自主事業「アルカディアフェスティバル」の舞台の仕込み作業と本番での技術を体験する。	

**成 果** ・ 舞台芸術を制作者の立場から見てもらうことができ、一般来客者とは違った視点での文化振興を期待できる。  
また、修了者はホールスタッフとして事業の舞台制作に携わることができ、研修で習得した技術を発揮することができる。

**課 題** ・ 市外の参加者に比べ市内の参加者が減少傾向にあるので、広報活動を積極的に行う必要がある。

**問合せ先** 見附市文化ホール (阿部) 0258-63-5321

## ユースセミナー「『はなす』と『きく』の活性化計画」

<b>趣 旨</b>	青年の生き方を探る。毎年のテーマに合わせ、知識を深め、仲間づくりをすすめる。			
<b>実施主体</b>	新潟市中央公民館			
<b>参加対象</b>	18歳～30歳代の市民			
<b>参加者数</b>	延べ67人（平成18年度実績）			
<b>回 数</b>	5回	<b>日 数</b>	5日	
<b>場 所</b>	新潟市生涯学習センター		<b>時 間</b>	10時間

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成18年10月26日(木) 19:00～21:00	「ボケ」と「ツッコミ」の会話術	新潟お笑い集団NAMARA代表 江口歩
	内容・方法	会話のテンポと話の切り口を芸人さんの立場から語ってもらう。	
2	平成18年11月2日(木) 19:00～21:00	自分をアウトプット！～会話磨きをしてみよう～	フリーアナウンサー 佐々木和子
	内容・方法	対話の基本，日本語の基本，早口言葉，あがり症への対策など	
3	平成18年11月9日(木) 19:00～21:00	あめんぼ・あかいな・あいうえお	劇団第二黎明期 高橋桂子
	内容・方法	明快な発音，発声のために。呼吸法や発声など。	
4	平成18年11月16日(木) 19:00～21:00	アップテンポなトークのために ～そうだ！聞く人になろう～	産業カウンセラー キャリアコンサルタント 福田貴美子
	内容・方法	ちょっとしたことで違う聞き方のコツ。会話のキャッチボール，イメージの伝わり方の差など。	
5	平成18年11月30日(木) 19:00～21:00	話芸を極める！落語にみつけるテクニック	新潟落語会会長 水都家艶笑
	内容・方法	日本古来の話芸から，コミュニケーションの表現の秘密を探る。	

- 成 果**
- ・ 講座終了後，自主グループ化。定期的に会合を持っている。
  - ・ 受講生の職業が多岐にわたっており，良い交流が図れたと思う。

- 課 題**
- ・ 青年層が興味をもつテーマの選定に毎回苦慮している。
  - ・ 通常の広報(新聞，市報掲載など)では，参加者が集まらない。ターゲットとする層を見据えた上での工夫が必要。

**問合せ先** 新潟市中央公民館(生涯学習センター)  
951-8055 新潟市礎町通3ノ町2086番地1  
TEL 025-224-2088

# 18年度女性セミナー「働くママ応援セミナー」

**趣 旨** 職場復帰に向けてエンパワーメントを図り、子育てと仕事の両立への一助とする。  
(企画委員あり・保育あり)

**実施主体** 新潟市東地区公民館

**参加対象** 育児休業中の方

**参加者数** 延べ152人(最終回の番外編に参加の乳幼児24人を含む)

**回数** 7回 **日数** 7日 **時間** 13.5時間

**場所** 新潟市東地区公民館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月1日(水) 10:00~12:00	思いはいっぱい!	企画委員
	内容・方法	○オリエンテーション ○自己紹介 ○グループワーク(仲間になるために、日ごろの思いをたくさん話し合う)	
2	11月8日(水) 10:00~12:00	あなたのことは、わたしのこと、そしてみんなのこと~先輩ママの体験談~	県ハッピーパートナー企業(株)第一印刷所福田千花子・育児休業体験企画委員2人
	内容・方法	○体験発表(苦労したこと、乗り切り方、両立ポイント、育休中の過ごし方など) ○グループワーク(復帰への不安・疑問の明確化&思いに共感し共有する)	
3	11月15日(水) 10:00~12:00	保育園はつよ~い見方	有明保育園 園長 須藤明美
	内容・方法	○講義(保育園での生活、賢い利用法、共働き家庭へのアドバイス&三歳児神話を問う) ○グループワーク(質疑応答)	
4	11月21日(火) 10:00~12:00	コミュニケーションマナー	資生堂販売(株)関越支社新潟支店お客様窓口担当 山際明子
	内容・方法	○実習(オンとオフに使い分け)	
5	11月29日(水) 10:00~12:00	パパがもっと協力的になるために	専門学校非常勤講師 斉藤良子
	内容・方法	○講義(父親の子育てへの参画の必要性を確認&上手な働きかけ方) ○質疑応答	
6	12月6日(水) 10:00~12:00	だいじょうぶ!	県テレビ新潟アナウンサー 木内なな
	内容・方法	○講義(働く先輩からの応援メッセージ) ○グループワーク・全体会(復帰への思いを共感し、セミナーを振り返り話し合う) ○事業アンケート実施	
7	12月10日(日) 13:00~14:30	番外編「パパの子育て参画ミニ講座」	県立新潟女子短期大学助教授 齋藤 裕
	内容・方法	○実習(こどもとの遊び方、遊びネタ) ○ミニ講義(父親の子育て参画への呼びかけ) ○ティータイム(情報交換) ※この回は保育なし、家族で参加	

**成 果** ・参加者のアンケートから、講座全体の満足度評価は、ほぼ100%に近い数字を得た。育児休業中の企画委員9人と7回の企画会議を経てのプログラム作りが、参加者のニーズと合致したものと思う。対象を絞っての実施は、参加者の関係づくりもうまくいったと考える。

**課 題** ・男女共同参画社会づくりを目指す女性セミナー事業であることから、参加者のニーズことも必要ではあるが、子育てと仕事の両方を選択した女性にとってこの時期は女性問題が集約する時期でもあり、社会制度や性別役割分担等にも踏み込んでのプログラムづくりが必要と思われる

**問合せ先** 新潟市東地区公民館 TEL 025-241-4119 (担当:高橋文子)

## 亀田地区市民大学 「男の浪漫追求講座」

<b>趣 旨</b>	定年退職を迎えた男性の趣味・生きがいをみつける手助けとなるための講座。			
<b>実施主体</b>	新潟市教育委員会 亀田教育事務所 生涯学習課			
<b>参加対象</b>	概ね60歳以上の男性			
<b>参加者数</b>	20名(延べ140名)			
<b>回数</b>	9回	<b>日 数</b>	9日	
<b>場 所</b>	亀田市民会館ほか		<b>時 間</b>	28時間
<b>内 容</b>				

回	期日・時間	内 容	講師等
1	7月7日(金) 10:00~1200	・顔合わせ&ストレッチ・ウォーキング ・体力チェックにより自身の体力値を知り、これからも健康でいられるための運動方法を学んだ。	体育課職員
2	7月21日(金) 10:00~12:00	・やきもの体験工房に行き、各々茶碗などを自由に作成した。	やきもの体験工房大窯 小林 大二
3	8月4日(金) 10:00~15:00	・デッサンの基礎の講習をやったうえで、簡単なモチーフでの描写の実践をした。	ギャラリーEMU-st 皆川 徳志
4	9月8, 22日(金)	・登山に対する心得をテーマに講義を行い、後日自然観察登山に挑戦した。	山岳ガイド 加藤明文
5	9月29日(金) 10:00~12:00	・ミニ盆栽(寄植え)を自由に表現。	(有)グリーンランドエデン 中野 繁子
6	10月20日(金) 13:00~15:00	・重要文化財巡りとして、萬代橋・金刀比羅神社・みなとびあ・白山神社を見学。	亀田郷土資料館長 三村 哲司
7	11月17日(金) 10:00~13:30	・そば打ち体験	関本製麺 代表取締役 関本 喜代一
8	12月1日(金) 10:00~13:30	・基本的な和食作りと健康維持のための食事の話。 ・ご飯、鮭の焼きびたし、沢煮椀、柚香和え、もずく酢和えを作り、食しました。	管理栄養士 渋谷 晴美

**成 果**

- ・ 定年退職を迎えたばかりの方は有り余る時間を何に使って良いのか、また何かをしてみたいと思っても、何をしたら良いかわからないのではと考え、様々なことに挑戦してもらいました。つまみ食いのような講座で、2つ、3つにしぼってやって欲しかったという声もありましたが、盛りだくさんの講座で楽しかったという声や、これから続けてやってみたい、自分なりに深めていきたい、という感想もきけました。また仲間づくりの場としても役立ち、他講座等の情報交換をする方々もおおり、新しい交流が生まれたのではないかと思います。

**課 題**

- ・ 今回は初めての退職者限定講座ということで、趣味的講座になったが、今後は「今ある元気を維持していく」だけでなく、ゆくゆくは団塊世代の力を地域社会に活用できるようなボランティア養成講座などを考えていきたい。

**問合せ先** 新潟市教育委員会 亀田教育事務所生涯学習課 (担当 藤田 浩子)  
TEL: 025-382-3703

# 生涯学習振興大会

**趣 旨** 平成16年5月21日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立し平成21年5月までの間に裁判員制度がスタートするに伴い、基本的事項について研修し、生涯学習の推進を図る。

**実施主体** 新潟市教育委員会味方教育事務所

**参加対象** 一般市民

**参加者数** 60名

**回 数** 1回                      **日 数** 1日                      **時 間** 2時間

**場 所** 味方地区公民館

## 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	2月25日（月） 10:00～12:00	「裁判員制度 私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します」	新潟地方裁判所判事 大谷吉史
1	内 容 ・ 方 法	2009年（平成21年）に裁判員制度がスタートします。この制度を、開かれた司法の実現のためには重要な制度と考えています。そしてこの裁判員制度は私たちが実際に裁判員として裁判に参加する時に参加しやすい仕組みになっていなければなりません。市民の裁判員制度とは何か、多くの市民の方々の議論の中から考えていきたいと思っています。裁判員制度についてわかりやすく説明したビデオ上映会を開催した。	

**成 果** ・ 「今回の大谷講師の研修内容は、企画・運営を考える上で有意義であった。特にビデオ上映は実践的なことをわかりやすく良かった。」等の参加者の感想から、今後裁判員制度がスタートするまでにより多くの方に参加してもらうことが出来ると実感した。

**課 題** ・ 今後の大切な問題となるので、繰り返し開催してもらいたい。等の感想からもわかるように、各市町村の生涯学習関係者に対して、今回のテーマに対応する研修を今後も継続して提供していく必要がある。  
・ 今回のテーマに対して研修後の各市町村の取り組み把握や情報提携が必要である。

**問合せ先** 新潟市教育委員会味方教育事務所社会教育課（担当 大矢 敏）

TEL：025-372-1141

## 市民教養講座「エコライフ講座」

<b>趣 旨</b>	近年深刻な問題となっている地球温暖化を身近な問題と捉え、できることから環境を考える機会とする。			
<b>実施主体</b>	新発田市中央公民館			
<b>参加対象</b>	新発田市民			
<b>参加者数</b>	受講者数 17名	延べ受講者数 41名		
<b>回数</b>	3回	<b>日 数</b>	3日	
<b>場 所</b>	新発田市生涯学習センター他		<b>時 間</b>	6時間
<b>内 容</b>				

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月4日（土） 13:30～15:30	ドイツに学ぶエコ生活	環境省環境カウンセラー 4万人のゴミゼロプロジェクト会員 橋 由紀夫さん
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師が視察で訪れたドイツでの環境保護の取り組み事例を映像で紹介。</li> <li>3Rの事例として、当市で毎年行われている「全国雑煮合戦」においてリユース食器が使用されている事例も紹介。</li> </ul>	
2	11月18日（土） 13:00～15:30	新潟市資源再生センターエコパーク見学	施設職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市資源再生センターで収集されたビン・缶の選別の様子を見学。</li> <li>資源として再生・再利用される行程も学習した。</li> </ul>	
3	12月2日（土） 13:30～15:00	チームエコの活動	UX新潟テレビ21 チームエコ事務局 田中 健さん
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業としての取り組み事例。</li> <li>グローバルな視点から、環境問題の危機的事例を取り上げ、そこから「Team ECO」プロジェクトの発足、活動につながっていく課程や現在の活動状況を紹介。</li> </ul>	

**成 果**

- 環境問題について感心を高める第一歩として開催したが、講座では質疑が活発になされるなど受講者の熱心な姿勢がうかがえた。
- アンケートで第2回目の施設見学がよかったとの意見が多かったことから、リサイクルの現場を実際に目にする事で聴講した内容を検証するよい機会となったと考える。

**課 題**

- 市長部局環境問題担当課とタイアップすることで、市としての課題を明確化することができ、より充実した内容構成ができると考えられる。
- プログラムに演習を取り入れ、より理解を深める。
- 広報活動（効果的なチラシづくりや配布の工夫等）をより積極的に行い、参加者増を図る。

**問合せ先** 新発田市中央公民館（担当 齋藤） 電話：0254-22-8516

# 生きがい教室（書道・園芸・茶道・華道・陶芸・表具・手芸クラブ）

**趣 旨** 老年期の生きがいのため、様々な趣味のクラブを開設し、生涯学習の振興を図る

**実施主体** 神林教育委員会 生涯学習課

**参加対象** 60歳以上の方

**参加者数** 180名（クラブ員の合計）

**回 数** 各クラブ月1回程度 **日 数** 各クラブ12日程度 **時 間** 1回につき5時間

**場 所** 農村環境改善センター、住民憩いの家等

## 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	各クラブ月1回程度 10:00～15:00		各クラブその道に長けている方をお呼びし、一年を通して講師をしていただいている。
	内容・方法	○生きがい教室には、書道・園芸・茶道・華道・陶芸・表具・手芸の7クラブがあり、各クラブ月に1回程度活動を行った。	

**成 果** ・ クラブ員一人一人が大変真剣に取り組んでおり、技術向上が感じられる。

**課 題** ・ 新規加入者が少なく感じる。広報活動などに力を入れ、住民の方々に認知していただき新規加入者を募っていきたい。

**問合せ先** 神林村教育委員会 生涯学習課 社会教育係  
電話0254-66-8111 Fax0254-66-8112



# 長寿大学

**趣 旨** 老年期にふさわしい社会的能力を養い、自主的生活の維持と世代との融合に努力し、生きがいある生涯のために学習を進める

**実施主体** 神林村教育委員会 生涯学習課

**参加対象** 60歳以上

**参加者数** 173人

**回 数** 10回 **日 数** 10日 **時 間** 1回につき1時間20分程度

**場 所** 神林村総合体育館内柔剣道場

## 内 容(10回のうちの一つです)

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月21日(金) 14:00~15:20	「シニア世代の交通安全」	新潟県警察本部企画課安全教育担当 村上警察署交通課交通指導担当
	内容・方法	○講師の方からは、参加者に分かりやすく丁寧に交通安全指導を行っていただいた。腹話術を使った指導もあり、楽しみながら勉強できた。	

**成 果** ・ 参加される方が勉学に対して大変意欲的で、毎回のテーマも大学生のニーズに合わせた内容となっており、有意義な時間を提供できていると考えられる。

**課 題** ・ これからも時代と参加される方のニーズに合わせた、テーマ・講師依頼を考えなければならない。  
・ 広報活動により、より多くの参加者を募り、気軽に勉強できるような空間作りを心がけたい

**問合せ先** 神林村教育委員会 生涯学習課 社会教育係  
電話0254-66-8111 FAX0254-66-8112

# さんぽく未来塾

**趣 旨** 行政各課と連携して、地域課題・生活課題について学習を深め、「町づくりは人づくり」を考える。

**実施主体** 山北町・山北町教育委員会・さんぽく未来塾運営委員会

**参加対象** 町内に住んでいる人、職場のある人で年齢・性別は問わない。

**参加者数** 延べ142人

**回数** 5回 **日数** 5日 **時間** 9時間45分

**場所** 山北町民会館 ほか（3回目は県主催の公開講座に参加）

## 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月27日（土） 0:45～14:30	山北町の現状と課題	山北町長 大滝平正
	内容・方法	平成18年度の主要施策・市町村合併・日沿道のネットワーク化について山北町長より講演していただき、参加者による意見交換を行った。意見交換については、運営委員で進行。	
2	7月1日（土） 13:30～16:00	「バイオマス」ってなーに？	新潟薬科大学助教授 川田邦明 氏
	内容・方法	「バイオで考えよう自然との共存」と題し、聞きなれないバイオマスについて身近にあるもの、自分達でもできることをお話していただいた。 村上地域振興局・つきさらバイオマスセミナー利活用推進委員会の共催をいただいた。	
4	10月21日（土） 13:30～15:30	食の安全についてみんなで考えよう	新潟農政事務所 虎沢 信 氏
	内容・方法	安心・安全な食生活ができるよう、毎日の食生活を見直し生涯にわたり健康な心身を培い、豊かな人間性を育むため、「産地」・「添加物の表示」などに関心を持ち、注意して買物をしたり、食べたりすることを習慣とできるようにお話していただきました。 食育にもふれ、一人ひとりが自らの食について考え、判断できるよう情報を提供してもらった。	
5	11月25日（土） 13:30～15:30	要介護にならないように	山北町社会福祉協議会 菅原介護福祉士
	内容・方法	要介護にならないように、増やさないようにそして予防するにはどう生活したらいいのか？そして山北町の高齢者人口は39.1%と県内でも3番目に位置している現実を考え、老いても自分のことは自分でできることを目標とした規則正しい生活習慣を身に付ける方策などを、地元の施設に勤務している顔の見える講師からお話を聞いた。	

**成 果** ・ 今年度の大きなテーマは「生きる」を考えるということで始まりました。2回、4回、5回については、関連をもたせ環境・食生活・介護（老後）と話題をつなげることができました。

**課 題** ・ 参加者が少なくなり、固定化してきている。  
・ 厳しい財政状況のため講師の依頼等に苦慮している。

**問合せ先** 岩船郡山北町教育委員会 教育課生涯学習係（担当 斎藤真理子）

TEL：0254-77-3111（内線413）